

【がん化学療法レジメン】

宮崎県済生会日向病院 2024 年 12 月 1 日改訂 《無断転載禁止》

対象疾患	適応	レジメン名	コース期間	総コース数	催吐リスク
膵癌	☒ 進行・再発 ☐ 術前補充療法 ☐ 術後補助療法	nal-IRI+5FU/LV療法	14日間	規定無し	中

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	day													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	デキサート パロノセトロン 生理食塩液	6.6mg 0.75mg 100mL	点滴静注	20分	↓													
②	オニバイド 生理食塩液	70mg/㎡ 500mL	点滴静注	90分	↓													
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓													
④	レボホリナート 生理食塩液	200mg/㎡ 250mL	点滴静注	120分	↓													
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓													
⑥	フルオロウラシル（5FU） 生理食塩液	2400mg/㎡ 適量	点滴静注	46時間	↓	↓	↓											

《注意事項・備考》

・ 制吐療法：悪心嘔吐状況に応じてアロカリス点滴静注235mg投与を考慮、投与の際はデキサート3.3mgへ減量とする
・ 遺伝子多型UGT1A1*6、*28のホモ接合体または、ヘテロ接合体ではオニバイド用量（70mg→50mg）の減量を推奨 → 容認性が認められれば次コース以降通常量まで増量可能